

観測施設情報

施設名	京都大学生存圏研究所信楽 MU 観測所		
施設写真	  <p style="text-align: center;">(a) (b)</p>		
施設情報	所属先	京都大学生存圏研究所	
	施設所在地	〒529-1812 滋賀県甲賀市信楽町字神山	
	TEL/FAX	0748-82-3211 / 0748-82-3217	
	URL	http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/mu/	
施設概要	<p>MU レーダーは 1984 年に設立されたアジア域最大、世界で最も多機能な大型大気レーダーで、直径 100m の巨大円形アンテナ内(写真 a)に 475 本の八木アンテナ(写真 b)が設置されています。ビームの方向を計算機で制御することにより電波照射方向を変え、下層から超高層(1.5km ~ 600km)までの大気を観測しています。観測所内には L バンド下層対流圏レーダーやレイリー・ラマンライダーも設置されています。</p>		
施設・測器	<p>MU レーダー装置、イオノゾンデ、ラジオゾンデ受信機、下部熱圏プロファイラーレーダー、L 帯境界層レーダー、レイリー・ラマンライダー、RASS 観測装置、降雨強度計等</p>		
観測項目	<p>高度 1~25km の対流圏・下部成層圏(風速、エコー強度、スペクトル幅)、高度 60~90km の中間圏(風速、散乱電波強度)、高度 100~600km の電離圏領域(電子密度、電子温度、イオンドリフト速度)の観測、流星観測(高度 80~100km の風速、両極性拡散係数、時間変動率)や、沿磁力線不安定現象の観測や RASS による温度観測等が行われています。最近では、多チャンネル受信システムを活用した最新のレーダーイメージング技術を活用した大気の微細構造観測が活発に行われています。</p>		
観測データ	<ul style="list-style-type: none"> ・観測データは生存圏研究所の生存圏データベースに送られています。 (http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/dbhs/) ・観測データ(1 日毎のプロット)(http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/mu/database.html) (注) 		
共同利用	<p>MU レーダー、イオノゾンデ、2 周波降雨レーダー、L 帯境界層レーダー等の共同利用が可能です。ラジオゾンデ受信機の貸し出しも行っていきます。キャンペーン観測(長時間観測)の研究課題や一般共同利用研究課題の公募、およびデータベースの全国国際共同利用が行われています。新観測機器のテストフィールドとしての利用も可能です。利用希望者は、まず担当者(mu@rish.kyoto-u.ac.jp)と相談の上、共同利用申請を提出してください(http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/mu/study.html) (注)。</p>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年 1 回報告会が開催されています。 (http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html) ・観測所の見学は随時受け付けています。 		

(注) ページが閲覧できない場合は、上記「施設情報」内の URL をご参照下さい。

更新日: 2015 年 7 月 7 日

